

未来創生学

地域フィールドワーク（JA 枝物部会）、講演会

今回の地域フィールドワークで生徒が訪れたのは、JA常陸グリーンハウス大宮（枝物・野菜等の集荷場）です。現在、花桃のほか各種ヤナギ類やミズキ類など250品目を市場に出荷し、年販売額1億3千万円を超えるまでに成長し、茨城の「奥久慈ブランド」として全国的に認知されています。

生徒は、生産者と野菜や花の流通及び農協の取組についての説明を受けた後、集荷施設内の持ち込まれた野菜や枝物や花きを保管する冷蔵庫、箱詰めされた野菜等を見学しました。出荷の様子を見学し、地場産業の枝物について、需要や用途や将来の可能性を学ぶことにより、郷土の魅力を再認識し、地域活性化及び地域貢献への意識を高めることができました。



午後からは学校に戻り、JA常陸奥久慈枝物部会長を務め、小瀬高卒の同窓生である石川幸太郎氏から講演をしていただきました。高校時代の思い出、仕事から学んだ協同の理念、生まれ育った地元を愛し、地域の再生を願って、第二の人生を枝物と地域活性化に懸ける夢について、熱い思いを語っていただきました。生徒は、時おり、うなずきながらメモを取り、厳しい社会で現在活躍をされている大先輩の話真剣な眼差しで聞き入っていました。

今回の地域フィールドワークと講演会で、生徒は地元の特色を生かした産業を知るとともに、目標を持つことの大切さを学ぶことができました。



小瀬高 web ページも
ご覧ください。



「ない」からこそできる！

小瀬高 **SPIRITS & PRIDE**